

審判講習会 参加報告書

平成28年8月17日
報告者 金谷純代

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	平成28年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 審判研修会
参加者 (報告者)	金谷 純代 (所属カテゴリー) 南予高体連
期 日	平成28年7月27日(水) から 平成28年7月31日(日)
会 場	広島サンプラザ
講 師	相原伸康 氏 渡邊 整 氏 吉橋雅一 氏 岩木太郎 氏 須黒祥子 氏 片寄 達 氏 平原勇次 氏 緒方 崇 氏 前田喜庸 氏 向井和宏 氏
参加者	講師10名 研修生58名 計68名
報告① <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	■講 義 講師 岩木太郎 氏 テーマ『信頼される判定をするために』 ■講習内容 及び ミーティング内容 判定までに流れとして「知識・経験」→「実行」→「気づき」→「確認」→「判定」がある。 判定していくには「気づき」をいかに多く持ち、いかに早く絞れるか、重要なプレイをいかに長くみることができるかが大切である。 ビデオ1【トラヴェリング】成立の確認や予兆を感じ、準備をする ビデオ2【ディフェンスの手の使い方】シリンダーを越えた手の使い方 ビデオ3【オフフェンスファール】オフフェンスにもシリンダーがあり、そのシリンダーを越えたイリーガルな手の使い方 上記のケースについて、ご指導をいただいた。 最後に、コートに立つ上で必要な心構えについて、「自分の強さと弱さを知る」「これまでの自分を越える」「審判も戦いである」の3つをお話いただきました。
報告② <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技講習 <input type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	■実技講習 講師 岩木太郎 氏 ・ 渡邊 整 氏 ■講習内容 1. ウォーミングアップ 2. ハイポストからローポストへの移動に対する位置取り練習 3. ローポスト1対1への判定練習 4. ハイポストのスクリーンからの2対2 5. オールコート3対3でのリードとトレイルの連携練習 セットアップポジション、クローズダウンなどの動きの工夫について確認を行った。一工夫加えることで見える情報が増え、より周りが深く、長く見えてくる。普段やっていることに急な変化を加えるのではなく、一工夫でいいのでトライしてほしい。見ていたものを判定するために、アングルや身体の向きを工夫する。そして一番は確認をすることを大切にしてほしい。ノーワーキングエリアに長く停まらないようにする。リードのスイッチサイドは目を残しながら

	<p>ら早歩きのと要領で行うとアングルが保たれる。ただし、見えないよりは見えることが優先なので、間に合わないときは走って構わない。右サイドにボールがあるから右によるのではなく、ディフェンスの守り方やスペースへのプレイヤーが入ってくるかなどの状況をクローズダウンしながら見て右に寄る。ローポストの1対1はピボットを踏むと面が変わる。触れ合いだけをみるのではなく、ヴァイオレーションやファウル、キャッチなどプレイヤーの技術も見ておく。手を使って守ることに対して、その手がシリンダー内にあるか、外にあるか、その手をどのように使っているかを見極める。ハイポスト付近でのプレーについてリードがクローズダウンする必要がないこともある。トレイルが近くで見えるなら自分のいるサイドへの展開を考えてステイするべきである。ここにいるのもいないのも自分で理由をもつこと。トレイルのただ下におりるのではなく、上側へのペネトレイトをすることでトレイルにしか見えないアングルもある。無理に下においてブラインドを作らないようにする。動くことを目的にせず、ディフェンスがどうなっているかを確認するために動く。など多くのことを丁寧にご指導いただきました。</p>
<p>報告③ <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)</p>	<p>■モデルゲーム 大分県立中津北高等学校(大分) VS 作新学院高等学校(栃木) 主審 金谷純代 副審 神山安奈(三重県) コート主任 渡邊 整 氏</p> <p>■ミーティング内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1・2番エリアから右ドライブに対して、ペネトレイトができていないことがあるので、常に確認に足を運ぶ。 ○セットアップポジションからクローズダウン後、右に行くタイミング ○右に行ったが為にストレートラインまたは、ブラインドになったケースがあったので見極めること ○ショットクロックや残り時間の把握を2人で協力して行うこと ○今の取り組み姿勢を崩さず、積み重ねていくこと <p>などの、ご指導をいただきました。</p>
<p>報告④ <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)</p>	<p>■インターハイ1回戦 湯沢翔北高等学校(秋田) VS 就実高等学校(岡山) 主審 中澤久馬(京都) 副審 金谷純代 コート主任 前田 信 氏</p> <p>■ミーティング内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレス時のニューリードが遠い、お互いが助け合って確認 ○2・4秒間際のプレイ、オフィシャル管理 ○アウトオブバウンズの目きりが早い ○1ゲームを通して、お互いが同じ基準で吹き続けることができてきた <p>などのご指導をいただきました。</p>
<p>所感</p>	<p>今回の研修会は、今の自分の力を出し切ることを、そして多くのことを吸収して帰県しようという強い気持ちを持って参加させていただきました。3日間、丁寧にご指導くださいました講師の先生方への感謝の気持ちを持って、担当ゲームに臨みました。今大会での反省を、ひとつひとつ確実にクリアできるように、今後も努力を重ねていきたいと思っております。大きな試合を担当するためには、普段からの積み重ねが何よりも大切であると感じました。今回学んだことを県内でしっかりお伝えできるように努力したいと考えておりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願ひ致します。最後になりましたが、このような機会をいただきました愛媛県バスケットボール協会の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。

審判講習会 参加報告書

平成 28 年 8 月 24 日

報告者 前田 周二

この度参加しました、審判講習会について報告します。

なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	平成 28 年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第 69 回全国高等学校バスケットボール選手権大会 審判研修会
参加者 (報告者)	前田 周二 (高体連)
期 日	平成 28 年 7 月 27 日 (水) から 平成 28 年 7 月 31 日 (日)
会 場	広島県 広島サンプラザ・
講 師	相原伸康・緒方崇・片寄達・平原勇次・吉橋雅一・須黒祥子・岩木太郎・渡邊整
参加者	58 名
報告① ■ 講義	<p>■講 義 講師 渡邊 整 氏 テーマ『信頼される判定をするため』～ルール、マニュアルの正しい理解と適用～</p> <p>(1) 研修会に臨むにあたって</p> <ul style="list-style-type: none">・3 日間精神的にも肉体的にもハードであるが、充実したものにしてほしい。・一つ一つのゲーム内容や結果にしっかりこだわってゲームに全力を注ぐこと。 <p>(2) 大会に臨むにあたって</p> <ul style="list-style-type: none">・冷静・公正・公平・真摯にコート上に立つことを大切にすること。 <p>(3) テーマについて</p> <ul style="list-style-type: none">・正しい判定の積み上げ (位置取り・ルールの理解・技術の理解・プレーや・コーチの理解)・公正・公平な判定をし、感情的な判定をしない <p>(4) 健康管理と言動について</p>

<p>■ 報告② ■ 実技講習</p>	<p>■実技講習 講師 緒方崇 氏・相原伸康 氏</p> <p>(1) 視野の当て方・見方の確認</p> <p>(2) 45° からの1対1 (トレイル) …オートマチックに降りるのではなく、オフenseとディフェンスのスペースをもとめて上に上がる・ペネトレイトすることを選択する。ドリブルの切り返しについては無理に見に行かず、リードに任せ、我慢してステイすることも重要。</p> <p>(3) 45° からの1対1 (リード) …抜けるかどうかの見極めから、右に行くのかステイするのかしっかり判断。ハイポストの高い位置で見えにくいところはトレイルに任せ、無理に見に行かない。エリア3でのドライブにおいては、体の向きを変えることを意識し、準備する。開いてみるのか、クローズダウンするのかなかの判断。</p> <p>(4) 3対3 (ウィークサイドからのドライブ) …カバーディフェンスを意識してみる。トレイルのエリアからのドライブは、トレイルが責任を持って最後まで見る。アングルが悪くて見えないところはリードがカバーする。カバーディフェンスはトレイルから見えにくい場合が多いので、2人で協力する姿勢が必要。</p> <p>(5) 3対3 (スイッチサイド) …エリア5・6のローポストに飛び込んでくるセンターの1対1を見る。右への動き、体の向き、外からのカッティングに注意すること。トレイルは状況に応じてペネトレイトすること。アングルと距離をしっかりと意識し、距離が近いと足元が見えなくなるので少し下がる意識も必要。ターンに対応して中に入るか開くのかの判断が重要。トレイルのフォローも積極的に行う。</p> <p>(6) オールコート2対2 (トレイルからニューリードへの動き) …ボールから目を切って早く走って戻ることが第1優先。後方で起こる接触等はニュートレイルに任せることができる。リングのどちら側から来ているのかを判断し、アングルを変える。フロントコートの45°あたりで振り返る人が多いが、トレイルに任せて早くリードの位置を占めることが重要。</p>
<p>■ 報告③ ■ ゲーム</p>	<p>■ゲーム 主審 大城由華 副審 前田周二 コート主任 平原勇次 氏</p> <p>女子1回戦</p> <p>明星学園 (東京) 対 山口県立徳山商工 (山口) 【結果】明星106 対 57徳山商工</p> <p>(1) プレカンファレンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明星学園のインサイドプレーヤーの優位性が高いと思われるので、インサイドプレーヤーに対する守り方、手の使い方をしっかりと見極める。シールについても正当であるか、手を使ったものか (オフenseファール) を協力して判定すること。特にエリア5・6のローポストについては協力すること。徳山商工はサイズで負けている分、ドライブプレーやスクリーンプレーを多用する可能性があるため、ドライブの始まるどころでの明星学園の守り方やトラベリングをしっかりと判定すること。 <p>(2) ゲーム後のカンファレンス (平原氏の指導・助言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前半しっかりと協力して吹き逃してはならないものを全て取り上げることができていたので、いいゲームになった。 ○ インサイドプレーヤーのオフenseファールや、突き出しのイリーガルな手の使い方についても見逃さず、しっかりと判定していたので、点差に関係なく非常に良かったいいゲームになっていた。 <p>■ アクトオブシューティングについて、もっとしっかりと判定すべきであった。ステッ</p>

	<p>プがどうであったかが気になったようだが、ステップは関係ない。得点を審判が奪ってしまわないことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ トラベリングの判定基準について、ステップインはどうであったのか。しっかり軸足とフリーフットをとらえて、本当にイリーガルな足運びかどうかを見極めてから判定するべきであった。 ■ エリア1・2から始まったドライブプレーについては責任を持って判定しに行き、思い切って笛を鳴らすことが大切。もっと積極的にいくことを意識すべき。 ■ 「地元に戻って一つ一つのゲームに真摯に向き合って、より向上できるように努力したい。」という言葉が反省にあったが、その言葉を大切にして取り組めば、より向上すると思うので、是非その言葉通りがんばってほしい。
<p>所感</p>	<p>今回の研修では、実技研修が非常に多く、とても有意義な内容であった。個人としても課題としていたトレイルからの見方やアングルのとりかたについて、具体的でわかりやすい説明・実技であったので、今後の取り組み次第ではあるが、大きなスキルアップにつながるように感じた。また、リードの動きについて、クローズダウンや開くときのタイミングについても具体的なご指導があり、様々なプレーに対応できるよう責任を持ってとらえるとともに、2人で協力する意味合いについても理解を深める事ができた。</p> <p>本戦では今まで自分自身が経験したどの試合よりも盛り上がりのある緊張感の張り詰めた試合であり、大きな経験となった。1試合自分自身を客観的に評価する事ができないまま終わってしまったが、講師の平原氏にいただいたアドバイスを大切にして、今後の審判活動に役立てていきたいと思う。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。